

事業計画書

■当初 □最終

作成年月日 2019年05月 日

法人名	株式会社ファーストステップ
代表者職名前	代表取締役 永富香織
担当者名	連絡先

様式第2号-1

1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
■ 新規事業所の開設 (事業所の移転) (大幅な事業内容変更) □ 事業の追加	□ 共生型サービス	○	○	○	○							○	○	○	○	○
	■ 共生型サービス以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 多機能型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 定員の変更	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 建物の構造・設備の変更	□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見
管理者	■ 常			0 0 万円	○既存事業所の職員を記載するのではなく、開設を前提とした職員配置とすること。 ○E, F, Gの職員について、最低賃金を下回る給与となっているので確認すること。
サービス管理責任者	■ 常			3 0 万円	
児童指導員	■ 常 □ 非			2 5 万円	
〃	■ 常 □ 非			1 8 万円	
〃	□ 常 ■ 非			3 万円	
〃	□ 常 ■ 非			3 万円	
〃	□ 常 □ 非			万円	
人件費		日 日 支払	ボーナス	月 月	

受理	0 5 月 1 4 日
関係者への意見聴取	■ 市 建築指導課 消防局予防課
	■ 中小企業診断協会
	■ その他関係団体
	□
□	
□	
回答	0 6 月 2 1 日

2 事業実施に係る動機

現在運営中の多機能型のうち放課後等デイサービスの内容を拡張し、利用者となる子供たちによりよい支援を提供する。主に中学生を中心とした学習支援、運動支援を充実させる。小学校、中学校教諭の経験のある指導員が確保できたため、支援内容に個別学習支援のサービスを強化したところ確実な手ごたえを感じた。さらに利用希望者が増えているので利用定員を増やす必要性を感じた。

3 提供サービス

種別	① 児童発達支援	割合	%	提供日
	② 放課後等デイサービス	割合	%	■ ■ ■ ■ ■ □
	③ 就労継続支援B型	割合	%	月 火 水 木 金 土 日
理念	利用者にあわせた支援を提供し、自分自身で“はじめの一歩”をふみだしてもらう			
目標	利用者個人にあわせて社会生活に対応できる能力を身につけるための機会を提供する。			
同種のサービス	児童発達支援、放課後等デイサービス			

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
政策金融公庫	設備費	4 2 0 万円	1 6 8 万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	意見
土地	万円	補助金	万円	○7 借入金の状況と整合性を保つこと。
建物	万円	自己資金	万円	
設備	万円	借入金	万円	
車両	万円			
その他	万円			
運転資金	万円			
合計	0 万円	合計	0 万円	

4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

土地	所在地	用途区域	第一種中高層住居専用地区	意見	
所在地	福山市久松台2丁目27-33	用途区域	第一種中高層住居専用地区	○当該建築物は、住宅から児童福祉施設等への用途変更となる。用途変更をする床面積が100㎡以下であるため、手続きは不要だが、手続き不要な場合であっても、建築士等に相談し、建築基準法に適合する計画とすること。 ○誘導灯の設置が必要。 ○カーテン・絨毯等については、防災物品を使用すること。 ○使用開始届出書を提出すること。	
所有者	賃貸物件	抵当権	□ あり		
名称					
所有者	賃貸物件	抵当権	□ あり		
用途	放課後等デイサービス	構造	木造セメント瓦葺2階建		
階層	2 地上 2階 地下	階	建築年 1979 年		
建築面積	88.49 ㎡	延面積	㎡		
事業の概要	種別	放課後等デイサービス			
	①	手続	使用する階		2階 専有面積 38 ㎡
	収容人員	1 6人 内訳	職員		6人 利用者 1 0人
	種別	談話室			
	②	手続	使用する階		1階 専有面積 ㎡
	収容人員	人 内訳	職員		人 利用者 人
③	種別				
	手続	使用する階	階 専有面積 ㎡		
	収容人員	人 内訳	職員	人 利用者 人	
内容	申請種別 □ 新築 □ 増築 □ 用途変更 □ その他				
所在地内の建物を賃借し放課後等デイサービス事業を行う。					

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
利用者見込 A	6 人	7 人	1 0 人	1 0 人	6 従業員 7 借入金の状況との整合性を保つこと。
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	1 7 万円	1 7 万円	1 7 万円	2 1 万円	
収入	0 万円	0 万円	1 7 6 万円	2 1 1 万円	
給付費 ※2	2 万円	2 万円	2 万円	3 万円	
収入計 ①	2 万円	2 万円	1 7 8 万円	2 1 4 万円	
支出	8 2 万円	8 2 万円	9 0 万円	9 0 万円	
人件費	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	
旅費・交通費	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	
賃借料	1 万円	1 万円	1 万円	2 万円	
通信費	1 0 万円	1 0 万円	1 5 万円	2 0 万円	
諸経費 ※4	万円	万円	万円	万円	
支出計 ②	1 0 4 万円	8 2 万円	1 1 7 万円	1 2 3 万円	
収支 ①-②	- 1 0 2 万円	- 1 0 2 万円	6 1 万円	9 1 万円	
生産活動	収入 B	万円	万円	万円	
売上高 ※3	- 万円	万円	万円	万円	
支出 C	- 万円	万円	万円	万円	
利用者賃金	- 万円	万円	万円	万円	
必要経費	- 万円	万円	万円	万円	
最賃確保状況(A型)	- 円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること
 $(6180円 + 1550円(指導員加配) + 540円(送迎)) \times 1.08 = 8,931$

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地	万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H × 日 × 人 =	万円
	円 ×	H × 日 × 人 =	万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

5 主要取引先

上段:取引先	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
下段:所在地				
国保連	100 %	0 %	日 〆 日回収	
広島市中区東白島町19-4	%	%	日 〆 日回収	
	%	%	日 〆 日回収	

10 付近図

小学校区	久松台	人口	6 3 8 4 人	事業所数	1	事業所	1
利用定員							
凡例	○ ... 事業所	×	... 同種の事業所	△	... 一次避難先	□	... 二次避難先

意見

12 事業計画

<学習支援>
マンツーマンで一人一人の勉強の理解度にあわせて手製のプリントで支援

<運動支援>
当施設裏庭や体育館などを利用し、バドミントン、バスケット等を体験する

<個別支援計画の作成方法、作成方針、活用方法等>
利用者のニーズを実現するために当事業所でなにか出来るかを考え、相談事業所からの利用計画、アセスメントに基づき作成する。
児童指導員と話し合い、利用者の個々の状況に応じてサービスを提供する。

<従業者の支援の知識、技術の向上のための研修等>
従業者は8割が常勤社員で、毎年研修を受講し公的機関の会合等にも積極的に参加させる。

意見

○これまで系列の事業所でどのような療育を展開してきたのか、これまでの取り組みを今後の事業計画にどのようにつなげていくのかを踏まえて事業計画や方針を記載すること。
○各事業所における職員の経験年数と定着状況を示すこと。
○職場環境の整備と中長期的な職員研修の考え方を示すこと。

13 利用者処遇

当事業所は放課後等デイサービス、児童発達支援、就労継続支援B型の運営をしており、幅広い年代に応じた自立支援を提供できる。

<保護者への支援>
相談支援専門員の資格を持った職員が毎日の療育終了後に報告し、保護者の希望、不安等を把握し解決する。

<関係機関との連携>
発達障害者支援センターとの連携 地域での支援力向上の取り組み

<障害児の人権の擁護、虐待防止に係る取組>
虐待防止の講習に参加

意見

○これまで系列の事業所で支援中に発生した事故や保護者からの意見に対し、事業所としてどのような対応してきたのかを具体的に記載すること。
○学校との密な連携、保護者との面談やご本人の希望を聞くための方法について、どのように行っていくのか、考え方を示すこと。
○学校側の考え方でなく、当事者である児童や保護者の気持ちに寄り添いサポートしていくためにどのような体制を構築していくのか考え方を明らかにすること。
○教員経験者が担うことによる利点もある一方、教育の観点で捉えることや学校のやり方を当てはめて事業を展開する可能性も考えられるが、これに対してどのように考えているのか考え方を示すこと。
○学校でうまくいかない児童や保護者の方々が多く放課後等デイサービスを利用しているという背景から、学校とは違う視点を持ち、柔軟な対応をすることが放課後等デイサービスに求められていると思われるが、これについてどのように考えているか。

11 平面図

※平面図のデータを貼付

意見

○指導訓練室が1階と2階に分かれ死角が多く見られる。
不測の事態に備え、どのように児童を見守ることとしているのか。

14 防災計画

土砂災害対策

<避難場所>
久松台小学校

<避難方法>
指導員が徒歩で安全確認をしながら誘導する。

意見

○これまで系列の事業所で支援中に発生した事故や保護者からの意見に対し、事業所としてどのような対応してきたのかを具体的に記載すること。
○学校との密な連携、保護者との面談やご本人の希望を聞くための方法について、どのように行っていくのか、考え方を示すこと。
○学校側の考え方でなく、当事者である児童や保護者の気持ちに寄り添いサポートしていくためにどのような体制を構築していくのか考え方を明らかにすること。
○教員経験者が担うことによる利点もある一方、教育の観点で捉えることや学校のやり方を当てはめて事業を展開する可能性も考えられるが、これに対してどのように考えているのか考え方を示すこと。
○学校でうまくいかない児童や保護者の方々が多く放課後等デイサービスを利用しているという背景から、学校とは違う視点を持ち、柔軟な対応をすることが放課後等デイサービスに求められていると思われるが、これについてどのように考えているか。

15 一日の流れ

10時30分 ~ 12時00分	出勤 事務作業
12時00分 ~ 13時00分	休憩
13時00分 ~ 14時00分	支援準備
14時00分 ~ 17時30分	サービス提供
17時30分 ~ 18時00分	送迎
□時□分 ~ □時□分	
□時□分 ~ □時□分	

意見

事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日	2019年06月
法人名	株式会社ファーストステップ
代表者職名前	代表取締役 永富香織
担当者名	連絡先

様式第2号-2

受付印

1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
■ 新規事業所の開設 (事業所の移転) (大幅な事業内容変更) □ 事業の追加	□ 共生型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 共生型サービス以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	■ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 定員の変更	□ 多機能型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	■ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 建物の構造・設備の変更	□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2 事業実施に係る動機

現在運営中の多機能型のうち放課後等デイサービスの内容を拡張し、利用者となる子供たちによりよい支援を提供する。主に中学生を中心とした学習支援、運動支援を充実させる。小学校、中学校教諭の経験のある指導員が確保できたため、支援内容に個別学習支援のサービスを強化したところ確実な手ごたえを感じた。さらに利用希望者が増えているので利用定員を増やす必要性を感じた。

3 提供サービス

種別	① 児童発達支援	割合	35%	提供日
	② 放課後等デイサービス	割合	40%	■ ■ ■ ■ □ □
	③ 就労継続支援B型	割合	25%	月 火 水 木 金 土 日
理念	利用者にあわせた支援を提供し、自分自身で“はじめの一歩”をふみだしてもらう			
目標	利用者個人にあわせて社会生活に対応できる能力を身につけるための機会を提供する。			
同種のサービス	児童発達支援、放課後等デイサービス			

4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

施設概要	土地	所在地		用途区域	第一種中高層住居専用地区	主な修正点		
		所在地	福山市久松台2丁目27-33	用途区域				
建物	所有者	賃貸物件		抵当権	□ あり			
	名称							
	所有者	賃貸物件		抵当権	□ あり			
	用途	放課後等デイサービス		構造	木造セメント瓦葺2階建			
事業概要	階層	2	地上 2階	地下	階	建築年	1979	
	建築面積	88.49		㎡	延面積	㎡		
事業概要	①	種別	放課後等デイサービス				38	人件費を見直しました。
		手続	使用する階	2階	専有面積			
		収容人員	16人	内訳	職員 6人	利用者 10人		
	②	種別	談話室				㎡	
		手続	使用する階	1階	専有面積			
		収容人員		人	内訳	職員		
③	種別					㎡		
	手続	使用する階		階	専有面積			
	収容人員		人	内訳	職員		人	利用者
内容	申請種別	□ 新築 □ 増築 □ 用途変更 □ その他						
	所在地内の建物を賃借し放課後等デイサービス事業を行う。							

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	主な修正点
国保連 広島市中区東白島町19-4	100%	%	日 〃 日回収	
	%	%	日 〃 日回収	
	%	%	日 〃 日回収	

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	主な修正点
管理者	■ 常		45	00万円	非常勤職員の時給を見直し、最低賃金を下回らないよう改善しました。
サービス管理責任者	■ 常		56	30万円	
児童指導員	■ 常 □ 非		61	25万円	
"	■ 常 □ 非		27	18万円	
"	■ 常 □ 非		53	25万円	
"	□ 常 ■ 非		62	5万円	
	□ 常 ■ 非		62	5万円	
	□ 常 □ 非			万円	
人件費	日 〃	日 支払	ボーナス	月	月

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	主な修正点
政策金融公庫	設備費	420万円	168万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

設備資金	必要な資金		金額		調達方法		金額		主な修正点
	金額	万円	補助金	万円	自己資金	万円	借入金	万円	
土地		万円		万円		万円		万円	新規立ち上げの資金は自己資金で賄っており、新たな借入れはありません。
建物	40	万円		万円	490	万円		万円	
設備	50	万円		万円		万円		万円	
車両		万円		万円		万円		万円	
その他		万円		万円		万円		万円	
運転資金	400	万円		万円		万円		万円	
合計	490	万円		万円	合計	490	万円		万円

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	主な修正点
利用者見込 A	6人	7人	10人	10人	人件費を見直しました。
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	17万円	17万円	17万円	21万円	
収入 給付費 ※2	0万円	0万円	176万円	211万円	
収入 その他	2万円	2万円	2万円	3万円	
収入計 ①	2万円	2万円	178万円	214万円	
支出 人件費	108万円	108万円	116万円	116万円	
支出 旅費・交通費	5万円	5万円	5万円	5万円	
支出 賃借料	6万円	6万円	6万円	6万円	
支出 通信費	1万円	1万円	1万円	2万円	
支出 諸経費 ※4	10万円	10万円	15万円	20万円	
支出 支払元金利息				万円	
支出計 ②	130万円	130万円	143万円	149万円	
収支 ①-②	-128万円	-128万円	35万円	65万円	
生産活動 収入 B	-	万円	万円	万円	
売上高 ※3	-	万円	万円	万円	
支出 C	-	万円	万円	万円	
利用者賃金	-	万円	万円	万円	
必要経費	-	万円	万円	万円	
最賃確保状況(A型) (((B-C)/25)/8)/A	-	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

$$(6180円 + 1550円(指導員加配) + 540円(送迎)) \times 1.08 = 8,931$$

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
	万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H × 日 × 人 =	万円
	円 ×	H × 日 × 人 =	万円

※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

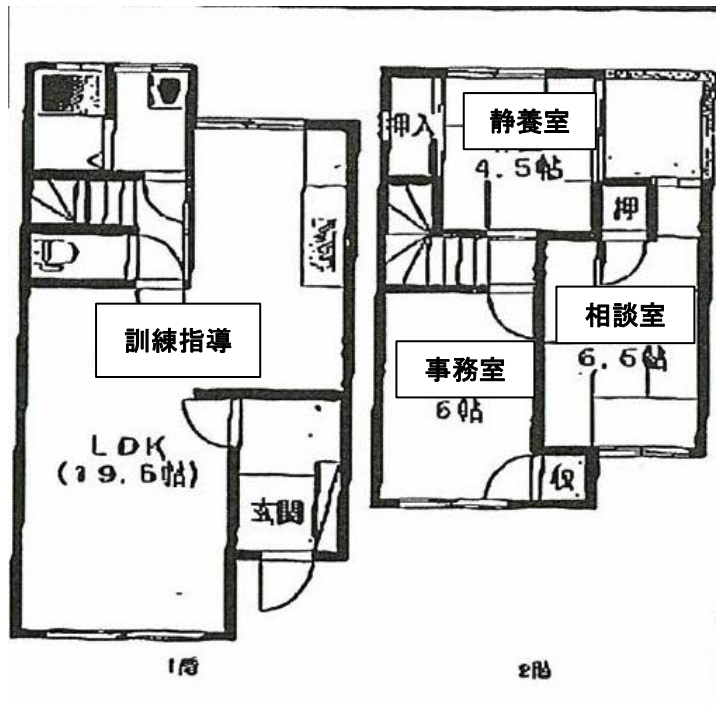
10 付近図

小学校区 久松台 人口 6 3 8 4 人 事業所数 2 事業所 利用定員 1 5 人 凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先 凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先	主な修正点 二次避難先を追加した
--	---

12 事業計画

別紙のとおり	主な修正点 当社のこれまでの指導経験やをふまえ、今後の支援に活かせるよう修正した。 職員の勤務年数と職員研修の方針を追加した。
--------	---

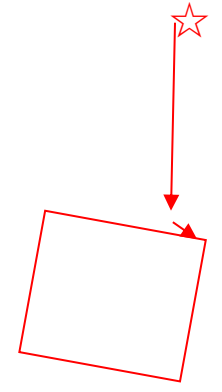
11 平面図

※平面図のデータを貼付  <p>訓練指導室の一角をパーテーションで仕切り同一フロア内でも個別指導が可能な体制。利用者が一人になることがなく、常に目が届くように配慮する。</p>	主な修正点 移動の距離をなくし、常に全体に目が届くよう児童の見守りの体制を強化した。
--	---

13 利用者処遇

当事業所は放課後等デイサービス、児童発達支援、就労継続支援B型の運営をしており、幅広い年代に応じた自立支援を提供できる。 <保護者との面談> 連絡ノートによる(毎日)。送迎時に迎えに来た保護者と面談し、今日の活動情報等を伝える。 電話にて保護者の希望や事業所からのお願い等をやり取りする。 相談支援専門員の資格を持った職員が毎日の療育終了後に報告し、保護者の希望、不安等を把握し解決する。 <学校および関係機関との連携> 現在、学校では特別支援教育の考え方を基に教育を行っており、教員経験者が支援にあたることでより個に応じた指導を行うことができる。訪問などを通して学校と連携を取り、先生方と情報交換をする。児童指導員は自己の経験に偏った指導にならないように他の職員と話し合い、利用者の個々の状況に応じてサービスを提供する。自己の経験にこだわらず、個を活かす指導が出来るように県などの研修に参加させる。 発達障害者支援センターとの連携し、地域での支援力向上の取り組みをする <障害児の人権の擁護、虐待防止に係る取組> 虐待防止の講習に参加 <利用者の安全確保について> 別紙 <苦情処理の体制> 別紙 <保護者からの要望に対する対応について> 別紙	主な修正点 ・当社の事業で得た経験の反省と改善点を検証したうえで、今後の利用者に対する対処の考え方を追加した。 ・教員経験者が支援を担う利点と過去の経験による支援のかたよりのないよう対処する方法を追加した。 ・利用者の安全確保についてを追加した ・苦情処理の体制についてを追加した ・保護者からの要望についての対応についてを追加した
--	---

14 防災計画

土砂災害対策  <p><避難場所> 久松台小学校</p> <p><避難方法> 指導員が徒歩で安全確認をしながら誘導する。</p>	主な修正点
--	-------

15 一日の流れ

9 時 0 0 分 ~ 1 2 時 0 0 分 出勤 事務作業 1 2 時 0 0 分 ~ 1 3 時 0 0 分 休憩 1 3 時 0 0 分 ~ 1 4 時 0 0 分 支援準備 1 4 時 0 0 分 ~ 1 9 時 0 0 分 サービス提供 1 9 時 0 0 分 ~ 1 9 時 3 0 分 送迎 〇 〇 時 〇 〇 分 ~ 〇 〇 時 〇 〇 分 〇 〇 時 〇 〇 分 ~ 〇 〇 時 〇 〇 分	主な修正点
--	-------